

# 光 彩 だ よ り

2011年 秋号（2011. 10. 1 発行）

- ★精神障害者通所授産施設 京都市朱雀工房
- ★グループホーム賀陽
- ★京都市中部精神障害者地域生活支援センター
- ★グループホーム山ノ内
- 「なごやかサロン」
- ★グループホーム光
- ★就労継続支援A型事業所 ワークステーションかれん工房
- ★就労継続支援B型事業所 西山高原工作所
- ★訪問介護ステーション 光彩

《発行》社会福祉法人 京都光彩の会（発行責任者／上村啓子）

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町 1-15 京都市こころの健康増進センター3F

TEL：075-314-0835 FAX：075-314-0781 E-mail：info@kyoto-kosainokai.jp

URL：http://kyoto-kosainokai.jp/

## 「京都市朱雀工房が障害者自立支援法の事業体系に移行をします」

社会福祉法人京都光彩の会

統括施設長 上村啓子

去る3月11日に起きた東日本大震災という未曾有の災害や原発事故が起きました。法人の職員も現地派遣の登録を行いました。今のところ現地には赴けておりません。募金や支援を行っている他団体への協力を行っていますが、支援体制を自ら構築できない基盤の脆弱さを認識し、もっと力をつけたいと痛感しています。

この7月に精神疾患が、がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病の「4大疾病」に追加され、「5大疾病」に認められました。自殺者も3万人を超えています。6月に心の健康を守り推進する基本法の制定に向けての街頭署名を利用者とともに行いました。足を留めてビラを受け取り、署名をくださった方もいましたが、まだ目標の100万人署名には届かず、運動を盛り上げていく必要があります。

また障害者基本法も7月に改正されました。しかし「障がい者制度改革推進本部」やその実務チームである「障がい者制度改革推進会議」の意見が十分には反映されていないものとなっています。

政治情勢の不安定さや震災からの復興、切迫した経済情勢という様々な課題を国が抱えており、障害者施策や精神保健福祉の改革がどう進むか危惧されています。障がいのある人たちが当たり前のように地域で働き生活できるよう、こころの健康が大切にされ、誰にとっても暮らしやすくなるよう保健医療福祉の充実を粘り強く訴えていきたいと思っています。

京都市朱雀工房は11月1日に障害者自立支援法の事業体系に移行する予定で手続きをすすめています。就労移行支援事業と就労継続支援事業B型の多機能型に移行します。「働きたい」という思いにこたえてジョブコーチ支援事業や清掃講習会や職業訓練、施設外就労などを実施し、就労支援を行ってきたこれまでの経過と朱雀工房にずっと通いたいというご利用者の皆さんのご希望に応じて選択しました。就労移行支援事業は施設外就労のできる企業様に協力をお願いし、就労体験がもっと得られるように準備をしています。また対人技能を高めるためのSSTを充実させ、ビジネスマナーを習得するためのプログラムを設けます。就労継続支援B型は工賃を高く支給できるように、レクリエーションももっと実施できるように考えています。利用者の皆さんの中には体調の波がある、環境の変化に弱く病状に影響がある等の障害特性から毎日通所できない方もいらっしゃいます。日額報酬である自立支援法に以降すると運営が厳しくなることが予想されますが、利用者が望まれる支援を行っていきたいと考えています。皆様のお力添えがないと乗り切れません。よろしくご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 京都市朱雀工房より

## ■ 11 月から変わります！

今まで精神障害者通所授産施設として運営してきた朱雀工房ですが、H23 年 11 月から自立支援法の「就労移行支援事業所」・「就労継続支援 B 型事業所」へと移行することとなりました。今回の移行により、就職を目標としている方・安定した生活を中心に考えている方に分かれる事になりますが、今まで以上に個別の目標に沿った支援を目指して行こうと考えています。

「就労移行支援」では、施設外実習や就労・SST・ビジネスマナーを中心に実践を意識した訓練を、「B 型事業所」では施設内での作業や出店を中心としレクレーションもとり入れて行こうと考えています。

これまでも 2 年間を目標として就労支援を行ってきました。朱雀工房を経て就職が決まり、悩みながらも元気にお仕事を続け、時々近況報告を兼ねて顔を見せに来てくれる時はとても嬉しく感じています。これからもそういう事が増えるよう、メンバーさんと一緒に頑張っていきたいと思っています。これからもよろしくお願い致します。



## ■ 朱雀工房を卒業した利用者に感想を寄せてもらいました

### 朱雀工房の皆様方に感謝

早いもので朱雀工房を卒業してから一年近い月日が過ぎました。朱雀工房には約 1 年と 5 ヶ月間お世話になりました。この間に私は様々な体験をさせて頂いたと共に、色々なものが見えてきました。

朱雀工房に行く迄の私の心構えとして、やるからには中途半端では無くベストを尽くして頑張ろうと思っていましたが、一時は自信を無くしてしまいそうになる事もありました。朱雀工房での人間関係にも最初は戸惑いを覚えました。今から考えると緊張の連続だったのだと思います。ミーティング、朝の体操、箱折り、弁当の配達、厨房でのお弁当箱や食器の洗い物等、夕方 4 時 15 分迄様々な作業がありました。その間に希望者のみですが、厨房内でのお弁当の盛り付け、老人介護サービスの朱雀デイ、勝山製本所での実習等々も行い、私はその都度どれに適しているのか、かなり迷いました。

でもその苦しい坂を上って来たお陰で私は社会復帰が出来たことを心より感謝しています。この朱雀工房での体験が無ければ、一時方向性を見失って途方に暮れていた私が社会にもどれていたかどうか疑問です。本当に朱雀工房の皆様方、有難うございました。

現在私の夢は、今働いている職場で一所懸命に働いて、お金を貯めて絵を描く事と子供が大好きなので、子供アトリエ教室を開くことです。夢が夢で終わらぬ様に、一日一日を大事に生きて、自分自身を磨いていく所存です。(T. S)

## ■WSB研究会で、佛教大学でお茶の出店を行いました。メンバーの声です。

朱雀に入ってから初めて、佛教大学へのお茶の出店をしました。天気も良く風も涼しくて、最高の日よりでした。お茶の出店をする前は、本当にお茶が売れるのか等々いろいろと心配していたのですが、思っていたよりもたくさんのお茶を売る事が出来てとても嬉しかったです。学生さんや佛教大学の講師の先生が興味深くお茶を見て頂いていた事がとても嬉しくて、鮮明に記憶に残っています。たくさんのお客様の前で、緊張もしていたのですが、スタッフの助けもあり何とか終える事が出来ました。次回もたくさんのお茶を売ることが出来るかな？

(Y. E)



## ■「こころの健康を守り推進する基本法の制定」にむけての京都100万人署名活動に参加して

6月25日(土)13:00~14:30まで四条河原町の高島屋、マルイとの2カ所で街頭署名を行いました。

「私のようなこころの病気になる人が増えてきています。こころの健康対策基本法が、でき、地域住民の方々にこころの健康について理解が広がればと願っています。是非署名にご協力ください。」とハンドマイクで、通行人によびかけました。

立ち止まって聞いていてくれる人もありました。自分の気持ちが言えてよかったと思いました。  
朱雀工房 高橋正治



### 朱雀工房の概況

メンバー募集しています!!

登録者数…20名(平成23年9月1日現在)

就職者数…6名(平成22年~23年)

主な就職先…事務職、サービス業、警備等

まだまだご利用できます。

お電話でご連絡の上、ご見学にお越し下さい。

連絡先 075-314-0835

(平日9時~17時まで)



# なごやかサロンから

京都市中部精神障害者地域生活支援センター

## ■ 京都市中部地域自立支援協議会 全体会・報告会

2011年7月7日(木)京都テルサにおいて、京都市中部障害者地域自立支援協議会 全体会議・報告会が開催されました。特に、相楽福祉会、西陣会の両法人のスタッフの方からの被災地支援の報告においては、民間での支援活動として、早くから現地に赴き、その中で日々変化するニーズをとらえ、出来ることは何かについて考えつつ、関西の複数の法人にてチームを作り、継続して支援にあたってくられたことに、率直に感銘を受けました。

また、発達相談所の心理士さん、下京保健センターの保健師さんの、行政機関に携わる専門職の職員としての活動報告からは、専門性とは、困難な状況の中にあっても、応援の要請に応じ、たとえその一部であっても職務を交代して全う出来ることであることを理解し、その点でも、役割を担うことの大切さを改めて知ることとなりました。日々の活動の中で、東北、福島のおかれた状況を思いつつ、出来ることを見い出していきたいと思います。(藤井)

## ■ 退院支援

### 京都市精神障害者地域移行支援事業

今年度は、これまでの『退院支援事業』から『地域移行支援事業』へと名称変更し、実施主体も京都府から京都市へと変更となりましたが、利用者への関わりや関係機関等との連携は変わらず情熱を持ち続けていきたいと思えます。今後とも、ご理解・ご協力を宜しく願います。

(域移行推進員 渡辺・山縣)

## ■ プログラム紹介『夏祭り』

2011年8月13日(日)に行った『夏祭り』についてご紹介します。みんなで輪になって盆踊りを行ったり、手作りのピンを使ったボウリング大会を行いました。



### 参加者の声)

「盆踊りのビューティフルサンデーが毎年恒例になっていていいなと思った。まず音楽をかけずに練習したほうがいいと思った」

「今年初めての盆踊りの参加だったけど、皆でわいわいできてよかった。楽しかった」

「準備でしんどい時もあったけど、皆でできてやりがいがあった良かった」

「炭坑節の踊り方を覚えられてよかった」

「ボウリング楽しかったけど、なかなかストライクが出なくて難しかった。土日のプログラムでもやってみたい」

「見ていて楽しかった。みんなの笑顔がよかった」



# ワークステーション かれん工房より

## ■ かれん工房の近況

現在、かれん工房の登録メンバーは13名となっており、就職を目指す方、配食・清掃を中心にスキルアップを目指す方等、少ない人数ですが職員も一丸となって事業に取り組んでいます。今年度は、4月1日より1名の方が正社員として老舗に就職されました。

また、新しく職員が3名採用されました。新しいスタッフを迎え、心機一転頑張っていきますので宜しくお願いいたします。今回は自己紹介とごあいさつをさせていただきます。

(かれん工房施設長 中島康典)

## ■ 新人ご挨拶

2011年4月1日より、ワークステーションかれん工房にお世話になっています柴田と申します。今年、大学を卒業したばかりで学ぶことばかりの毎日ですが、人との縁を大事に仕事をしています。これからも、人と縁を持つことの喜びを糧に日進月歩頑張っていきたいと思っています。まだまだ半人前なので、ご指導ご鞭撻の程よろしくをお願いします。

(かれん工房 柴田博之)

はじめまして、5月よりかれん工房にお世話になっています高尾と申します。

まだまだ学ぶことは沢山ありますが、常に利用者さんやお客さまと同じ目線で接することを大切に、これからも頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

(かれん工房 高尾憲治)



9月よりかれん工房にてお世話になっております一色と申します。職員としても社会人としてもまだまだ未熟者ですが、利用者の皆さんと接する中で、元気をいただき、また様々なことを学ばせて頂いております。日々、一步ずつでも前進していくことが出来るよう頑張っておりますので、宜しくお願いいたします。

(かれん工房 一色理恵子)

## ■ 休職のご挨拶

かれん工房に就職して5年が経ちました。大学卒業と同時にかれん工房で勤め、様々な経験を積んできました。私生活では、昨年結婚をして、今年11月に出産予定になっています。そのため、しばらくの間お休みさせて頂くこととなりました。皆さんに、母子共に健康に出産出来たことを報告できるようにしたいと思っています。復帰した際は、また宜しくお願いします。

(かれん工房 加藤幸代)



# 西山高原工作所より

西山高原工作所のある五条桂川の西岸は、ぽつぽつとあちこちに田畑が残っています。施設の隣も大きな畑で、毎年四季折々の野菜が育っているのを見ることができます。今は何やら大きな葉っぱが茂っているので、何かと思い町内の方にお聞きすると里芋だそうです。

工作所の敷地に入ると、建物の前にはメンバーが種を蒔いたヒマワリの鉢が置いてあり、早く芽がでて欲しいと少しずつ水をあげている姿を目にする今日この頃です。

所内では新しいメンバーも増え、毎日たくさんの顔が見えるようになってきました。一人ひとりが、それぞれの目的に沿って体力に合わせた通所間隔や時間帯など、一緒に考えながら進めていっています。今まで家にいることの多かったとあるメンバーは、「西山に来てから外に出る意欲が出てきた」と話してくれます。作業の種類や量・速さを少しずつ自分で感じて、その気持ちをにこやかに伝えてくれます。また他のメンバーは「また明日もお世話になります」と言って帰られます。ゆっくり耳を傾けると、その人の緩やかな変化を感じることが出来ます。

食生活のことやお金の自己管理、たばこを減らす計画などに挑戦しておられる方や、外での実習や勉強に取り組まれている方もいます。

所内にはいつも穏やかな空気が流れていて、みなさん落ち着いて作業に取り組まれています。一人ひとりにとっての通所の意味や必要性を大事にして、充実した日々を送って頂きたいと思っています。

生産活動は印刷・縫製・検査・紙袋製造の通常作業に加え少し変わった仕事もしています。例えば、地域の児童館のお誕生日プレゼントにお弁当袋を作っており、デザイン・包装にも工夫して毎月納品しています。他に、お茶を漉きこんだ懷紙を折って帯で束ねたり、日蝕用眼鏡を包装する作業なども請け負っています。独自製品としては、和紙一筆箋と封筒セットを作り販売を始めたところです。

さてこれからですが、この秋には西京地域のネットワークの「こころの健康講座」や「小さな秋のこころまつり」、西京地域女性会主催の「ぬくもり振興事業」とたくさん地域行事があります。メンバーの発表や室内スポーツ、歌、踊りなどへの参加を通じて積極的に交流していきたいと思っています。これからも西山高原工作所メンバーへの応援を宜しくお願い致します。



# グループホームトピックス

今回は各グループホームの世話人さんから、近況について聴かせてもらいました。

## ■ グループホーム賀陽

グループホーム賀陽はこれまで 6 名の入居者がグループでほぼ同じような生活パターンで暮らしてきました。入居にいたるまでのいろいろなストレスを共同生活という新しい環境のもとで緩やかに解消しながら次のステップへと気持ちを切り替えていったようでした。この長く続いた緩やかな生活の流れが昨年ごろから変わってきました。デイケアや作業所へ通所することが日々の目標の主流となっていたところに就労を目指す人、すでに就労している人が加わり生活の流れが変わってしまいました。

朝出かけるのは 7:00~11:00 に個々で出発、帰宅時間は 15:00~23:00 と時差があり土曜日、日曜日に出勤する人も有り等々、各々が各々のスケジュールで毎日が動いています。支援サイドも個別に十分関われるように体制を切り替えていくことが要求されます。

グループホーム賀陽はいま変化の最中です。

(世話人 中東)

## ■ グループホーム山ノ内

開所して今年で 12 年目を迎えるグループホーム山ノ内です。

男性ばかり 6 人の入居者で、日々いろいろな課題を抱えながら生活しています。

そのなか入居者の方々は、地域の皆さんをはじめ、他のスタッフたちとの関わりを通じて、人と人とのコミュニケーションが培い、また課題に向き合う力を得ているように感じています。

(世話人 岡田)

## ■ グループホーム光

暑い季節も過ぎ、皆様いかがお過ごしでしょうか。グループホーム光では世の中の節電傾向もあり、また昨夏の電気代が土用の丑も真ッ青(!?) の鰻登りだったこともあり、今年はエアコンの設定温度や時間を意識するちょっとした節電に取り組みました。熱中症になっては元も子もないので、『実は』世話人としては少々怖かったのですが・・・前半に昨年のような厳しい暑さがなかったこともあってか、電気代は無事抑えられてホッとしております。一人暮らしを支援していく施設ですので、いい意味で節電や節約は入居されている方々の練習になったかな・・・と思います。

さて目下のところ、月イチミーティングでの話題はみんなで行く焼き肉食べ放題です。旅行へ行きたいという話もちらほら出ており・・・やる気上昇中のグループホーム光です。

(世話人 岡本)



# 訪問介護ステーション光彩

早いもので、訪問介護ステーション光彩も4年目が半分過ぎようとしています。

お陰をもちまして、サービス提供責任者も2人体制で、登録のヘルパーさんも、入れ替わりはあるものの、10人稼働し順調に実績を上げられるようになりました。9月からは、OA講座の修了生の三村さんも事務員として、雇用できるようになりましたし、事業所らしい体制が整ってきました。

毎月行っているヘルパー勉強会も皆さん可能な限り参加され、和気あいあいと、尚且つ熱心にスキルアップに努めておられます。

今年度の、介護福祉士国家試験には、ピアヘルパーの方も含めて、2人受験されます。ステーションとしてバックアップ体制を取り応援しているところです。次号の光彩便りで、うれしい報告が出来るよう願ってやみません。

もう一つ、以前から出来ればいいと願っていた、介護保険の制度外のサービス「高齢者日常生活支援事業」を朱雀工房の協力を得て、新たに始めるべく準備が進んでいるところです。

保険制度では、ヘルパーは出来ないけれど、利用者は必要としている事と、メンバーさんの出来る仕事で、両者の利益になる事業として地域にも貢献できるのではと思っています。

(管理者・サービス提供責任者 夏見眞由美)

## ホームヘルパー募集

**あなたの資格と無限の可能性と才能を**

**「訪問看護ステーション 光彩」で発揮してみませんか？**

**とくに女性のヘルパーさん、主婦の経験を社会に活かして！！**

**健康な方であれば、年齢は問いません。**

**応募をお待ちしています！！**

指定居宅介護事業所 訪問介護ステーション 光彩

〒604-8588 京都市中京区東淵田町 12 番地 4

連絡先：Tel 075-384-7066 Fax 075-821-7347

受付時間：月～土 9時～17時

お気軽に  
ご相談  
ください！





# 法人からのお知らせ

## ■ 委託職業訓練について

平成23年度も委託職業訓練を行います。

本年度から障害者の態様に応じる多様な委託訓練がプロポーザル方式により決定されることになり、必要書類を提出し、審査され、お蔭さまで当法人が「介護サービス科」「OA基礎科」「OA実践科」の委託を受けることになりました。

「OA基礎科」は7月20日から始まっており、暑い最中にも15名の受講生がパソコン技能と対人技能の習得に励み、残りあと1ヵ月足らずになりました。ビンゴゲームを取り入れたり、個人の進度に合わせて自習を設けたり、工夫をしています。来年1月6日からは「OA実践科」を開校予定です。

ホームヘルパー2級の資格を取り就労をめざす「介護サービス科」は9月2日に開校式しました。10名の受講生で行っています。

なお委託訓練受講中、所属事業所が個別支援計画に基づき支援を実施した際には報酬を請求できるようになりました。

訓練生には「訓練・生活給付金」が支給されます。所得が年金程度であること、世帯主であること、資産が800万まで要件はありますが、適用されやすくなっています。訓練には交通費や昼食代、テキスト代等の経費が必要ですので、月10万円の訓練・生活給付金は助けになると思います。就労を希望される利用者がいらっしゃいましたら是非ご活用ください。



## ■ 平成23年度 清掃作業講習会の修了報告について

今年も公益社団法人京都ビルメンテナンス協会のご協力を得て、清掃作業講習会の初級・中級と上級講座の両方を無事に開催する事が出来ました。

初級・中級では京都精神保健福祉施設協議会加盟施設、病院や公的機関のデイケアなどに所属される12名の方の応募があり、お一人の方が体調不良の為にタイアされましたが、11名の方が修了する事が出来ました。上級では、初級・中級を修了された方の中から7名の方の応募がありました。講師の先生方の熱心なご指導と受講生の皆の高い集中力が実り、全員の方が最終日に修了証書を受け取る事ができました。

この講習は資格や就労に直接結びつくものではありませんが、講習で学んだ知識や技術を今後の仕事や就職活動に生かし、又アビリンピック京都大会を目指し更に練習を続けて頂けるよう期待しています。



## ■ 京のかれん家族会から

そうめん販売にご協力をいただき、ありがとうございました。

法人運営施設の朱雀工房、ワークステーションかれん工房、西山高原工作所に通所している、また通所したことのあるご利用者のご家族で構成される家族会です。互いに支えあうこと、精神保健福祉の向上を目的に活動しています。

夏には家族会活動の活性化と絆を強めるためにそうめん販売を行いました。たくさんの方にご協力をいただき、誠にありがとうございました。家族会活動に役立たせていただきます。

10月1日に右京文化会館で開催される「みんなねっと近畿ブロック家族の集い」に参加予定です。勉強会や懇親会など家族同士集い交流を深めています。

趣旨にご賛同いただき、よろしくご参加ください。

## ■ ジョブコーチ支援を利用してみませんか？

ジョブコーチは、事業所へ出向き、障害のある方に作業指導や人間関係に関する支援や助言などを行い、安定して働くことが出来るようにサポートします。また事業主の方には、障害特性の理解促進や支援のノウハウを提供し、働きやすい環境作りのお手伝いをします。

これまでいろいろな職場で働いている方へ支援を行ってきました。

- ・ 高齢者福祉施設での介護補助職
- ・ スーパーでの品出し
- ・ 病院、旅館の清掃業務
- ・ 精密機械の組み立て などなど

ジョブコーチ制度を導入した方々の、就職後の定着率は 8 割を超えています。興味のある方は、朱雀工房または京都障害者職業センターまでお問い合わせください。



## ■ 地域福祉推進モデル事業助成を活用して地域交流会を開催しました

平成 23 年 7 月 1 日（金）午後 1 時から西新道商店街会食会場にて地域交流会を開催しました。梅沢作業療法士による頭の体操、中京保健センターからの中京区こころのふれあいネットワークの案内、朱雀工房利用メンバー三村さんのギター演奏と歌の後、七夕飾りを作り、短冊をお願いを書いて笹に吊るしました。29名の参加があり、笑顔で会話を交わしたり、よい交流ができました。この催しは中京区地域福祉推進モデル事業から助成をいただいて実施し、中京区こころのふれあいネットワークの啓発活動の一環として行いました。

地域の方たちに精神保健福祉のことを知っていただくためにこのような取り組みを続けていきたいです。



**■日本精神障害者リハビリテーション学会**  
**第19回 京都大会 サテライト企画のご案内**  
**“自分らしさ”ようけ語りまひょ！**

“誰もが何かしらの当事者であり、人生の主人公である。混沌とした社会で生きている今こそ、自分を語り、表現することが大切なのだ・・・” そんな想いをもって、この企画を考えました。

「語ること」や「表現すること」をキーワードに、各団体による表現発表や活動紹介、出演者からの提言、そして当日参加される皆様から寄せられる意見などを基にしながら、“自分らしさ”について一緒に考えていきたいと思います。

皆さまの参加をお待ちしております！！

**日時** 平成23年11月11日（金）  
13:30～16:30（13:00～開場）  
**場所** 佛教大学 紫野キャンパス  
成徳常照館5F 常照ホール  
（京都市北区紫野北花ノ坊町96）  
**参加費** 無料（事前の申し込みは不要です）  
どなたでも参加できます！！

**プログラム（都合により変更する場合がございます）**

- ☆ ビデオ上映『京都の名所めぐり～事業所からのおすすめスポットを紹介！～』
- ☆ 各団体からの活動発表
  - 「きょうと WAKUWAKU 座」による芝居『うつになった桃太郎』の公演や大道芸の披露。
  - 当事者からの表現、スポーツ、就労をテーマにした活動の発表。
- ☆ 各団体や参加者からの提言
- ☆ 「合唱団グラアス」による歌の発表  
（当事者団体による合唱） and more…

**■ ありがとうございました**

**朱常本店 様**

朱常本店様よりバナナのご寄贈をいただきました。おいしいバナナで利用者、職員とも楽しみにしています。夏と冬、年2回いただくバナナは恒例となっていますが、長年(今回で52年、104回目)贈り続けられるのは並大抵のことではないと思います。本当にありがとうございます。

**京都府共同募金会 様**

4月に京都府共同募金会様よりNHK歳末たすけあい義援金助成事業として助成を受け、大型の洗濯乾燥機2台を購入し、事業の効率を上げる事ができ、皆大変助かりました。

本当にありがとうございます。



**イオングループ 様**

幸せの黄色いレシートキャンペーンで、皆様のご好意を受けて5,835円分のギフトカードを頂き、老人配食用の調味料や消耗品を購入することが出来ました。経費の軽減につながり、その分高齢者の方々には良いものを食べていただくことが出来ました。本当にありがとうございます。

**一般社団法人 日本レコード協会 様**

一般社団法人 日本レコード協会 様より当法人の京都市朱雀工房と西山高原工作所の両施設にそれぞれCDアルバムのご寄贈をいただきました。

施設を利用している方々に音楽を楽しんでもらう為に活用させていただきます。本当にありがとうございます。

# ご後援のお願い

平成 23 年 10 月 1 日

各位

社会福祉法人 京都光彩の会 後援会  
会長 岡 本 民 夫  
《公印略》

## ご後援のお願い

日頃より、社会福祉法人 京都光彩の会にご支援いただき、有難うございます。

今回は朱雀工房が移行することとなりました。

利用者のニーズに添って支援が出来るように気を引き締めているところでございます。  
色々な困難が予想されます。下記のように後援会を設けております。是非、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

後援会趣旨：京都光彩の会は精神に障害のある人たちが地域社会で共に働き、暮らせる  
ための支援を取り組んできました。この活動のさらなる発展を願い、広く  
支援をいただく仕組みとして後援会を立ち上げました。

会費	：	個 人 会 員	年間	一口	3, 0 0 0 円
		団体・法人会員	年間	一口	1 0, 0 0 0 円

納入の際には同封の振込取扱票をご利用下さい。お手数ですが通信欄には振込金額の  
明細をご記入下さいますよう、お願い申し上げます。

平成22年度 事業収支決算書

勘定科目		合計	
		21年度決算	22年度決算
事業活動収支の部	収	24,016,901	23,796,462
	就労支援事業収入		△ 220,439
	委託金収入	56,515,465	56,683,788
	補助金収入	9,561,102	△ 9,561,102
	自立支援費等収入	68,227,649	69,319,503
	利用者等利用料収入	12,024,127	12,157,961
	その他の事業収入	0	0
	寄付金収入	1,428,750	2,178,650
	雑収入	2,267,508	1,689,957
	収入	2,021,784	1,306,400
事業活動外収支の部	支出	887,500	2,830,429
	国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 715,384
	第1号職場適応援助者助成金収入		1,942,929
	事業活動収入計①	176,950,786	169,963,170
	支	25,121,158	23,870,074
	就労支援事業支出	0	0
	棚卸資産増減額	98,430,110	104,835,777
	人件費支出	27,178,381	23,150,520
	事務費支出	9,171,946	9,303,487
	事業費支出	2,779,760	3,641,719
事業活動外収支の部	減価償却費	1,170,947	1,128,609
	引当金繰入	163,850,302	165,930,186
	事業活動支出計②	13,100,484	4,032,984
	事業活動収支差額③=①-②		△ 9,067,500
	収	3,638	1,741
	受取利息金収入	0	0
	一般会計繰入金収入	0	0
	就労支援会計繰入金収入	0	0
	事業活動外収入計④	3,638	1,741
	支	0	0
事業活動外収支の部	支出	0	0
	経理区分間繰入金支出	0	0
	一般会計繰入金支出	0	0
	就労支援会計繰入金支出	0	0
	事業活動外支出計⑤	0	0
	事業活動外収支差額⑥=④-⑤	3,638	1,741
	経常収支差額⑦=③+⑥	13,104,122	4,034,725
	差額		△ 1,897
	合計	21年度決算	22年度決算
	収	3,638	1,741
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額⑧=⑦-⑧	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額⑨=⑧-⑨	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額⑩=⑨-⑩	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額⑪=⑩-⑪	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額⑫=⑪-⑫	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額⑬=⑫-⑬	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額⑭=⑬-⑭	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額⑮=⑭-⑮	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額⑯=⑮-⑯	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額⑰=⑯-⑰	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額⑱=⑰-⑱	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額⑲=⑱-⑲	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉑=⑲-㉑	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉒=㉑-㉒	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉓=㉒-㉓	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉔=㉓-㉔	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉕=㉔-㉕	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉖=㉕-㉖	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉗=㉖-㉗	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉘=㉗-㉘	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉙=㉘-㉙	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉚=㉙-㉚	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉛=㉚-㉛	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉜=㉛-㉜	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉝=㉜-㉝	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉞=㉝-㉞	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉟=㉞-㉟	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊱=㉟-㊱	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊲=㊱-㊲	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊳=㊲-㊳	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊴=㊳-㊴	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊵=㊴-㊵	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊶=㊵-㊶	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊷=㊶-㊷	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊸=㊷-㊸	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊹=㊸-㊹	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊺=㊹-㊺	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊻=㊺-㊻	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊼=㊻-㊼	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊽=㊼-㊽	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊾=㊽-㊾	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊿=㊾-㊿	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉀=㊿-㉀	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉁=㉀-㉁	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉂=㉁-㉂	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉃=㉂-㉃	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉄=㉃-㉄	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉅=㉄-㉅	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉆=㉅-㉆	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉇=㉆-㉇	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉈=㉇-㉈	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉉=㉈-㉉	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊰=㉉-㊰	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊱=㊰-㊱	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊲=㊱-㊲	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊳=㊲-㊳	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊴=㊳-㊴	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊵=㊴-㊵	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊶=㊵-㊶	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊷=㊶-㊷	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊸=㊷-㊸	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊹=㊸-㊹	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊺=㊹-㊺	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊻=㊺-㊻	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊼=㊻-㊼	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊽=㊼-㊽	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊾=㊽-㊾	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㊿=㊾-㊿	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉀=㊿-㉀	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉁=㉀-㉁	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉂=㉁-㉂	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉃=㉂-㉃	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉄=㉃-㉄	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉅=㉄-㉅	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉆=㉅-㉆	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉇=㉆-㉇	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉈=㉇-㉈	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業活動外収支の部	事業活動外収支差額㉉=㉈-㉉	3,638	1,741
合計	21年度決算	22年度決算	
収	3,638	1,741	
支	0	0	
事業			



# 京都市朱雀工房

## ※就労移行支援事業（利用期間：2年間）

仕事に就くための体力や集中力・持久力等を高める基礎的作業、施設外での職場体験実習やSST(対人技能訓練)・ビジネスマナー講習などにより、就職への支援を行います。

## ※開所時間

月～金曜日(祝日除く)9:00～16:30

## ※就労継続支援事業B型（利用期間：定め無し）

箱の組立て・お茶の袋詰め・喫茶などそれぞれのペースに合わせた作業を行います。また、レクリエーションなども実施します。

## ※開所時間

月～金曜日(祝日除く)9:30～16:00

まだ社会に出て行く自信はないけれど、デイケアや福祉サービス事業所に通いながら少し体力を取り戻してきた。

そろそろ仕事をして収入を得たい。

そんな想いの方々が利用する事業所です。

企業で働きたい人、自分自身の思いを実現したいと考えている人は、どんどんご利用下さい!!



## 地図・利用交通機関

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1-15 京都市こころの健康増進センター3F

TEL:075-314-0835 FAX:075-314-0781

### ●バス 市バス西大路松原下車

徒歩約3分

(13) (75) (202) (205)

### 市バス市立病院前下車

徒歩約4分

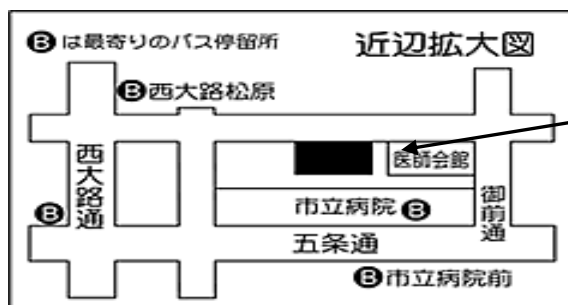
(32) (43) (61) (66)  
(73) (75)

### ●電車

### 阪急京都線西院駅

京福電鉄嵐山線西院下車 徒歩約10分

山陰本線 丹波口駅下車 徒歩約15分



京都市こころの健康増進  
センターの3階部分

## 利用手続きの流れ

### TEL連絡

まずはお電話下さい見学の日程調整などをさせていただきます。

### 見 学

施設の概要や訓練内容の説明をさせていただきます。

### 2 週間の実習

実際に仕事内容や訓練・雰囲気を体験して頂きます。

### 所内判定会議

実習の内容やご本人の希望を基に事業所内で会議を行います。

### 利用申請

役所で申請手続きをして下さい。

### 利用開始

申請した役所からの支給決定を受けて、利用開始となります。

※時間や日数は個別支援計画に沿って設定させていただきます。

※利用にあたって、利用料が必要になります。

また、交通費・昼食代は実費となります。

## こんなこともしています

### ジョブコーチ支援

- ・障害のある方と一緒に仕事先に出向き、仕事や人間関係に馴染み、定着するための支援を行います。
- ・現在、2名のジョブコーチが在籍しています。

### 講習会

- ・清掃講習会
- ・ボランティアによるパソコン講習会
- ・ビジネスマナー講習会
- ・ジョブガイダンス などなど

京都府から職業訓練を委託されることもあります。これまでは以下のような訓練を委託され、実施してきました。

#### 【OA基礎科】

⇒パソコンの基本操作を身に付ける訓練

#### 【OA実践科】

⇒パソコン技能の応用力を身に付ける訓練

#### 【介護サービス科】

⇒ヘルパー2級取得を目指す訓練。

職場実習も行っています。

### 地域生活支援センター

「なごやかサロン」と連携しての生活支援なども行っています。



